

# 【政治は生活を豊かにするツール】 八王子・生活者ネットワーク はつらつレポート

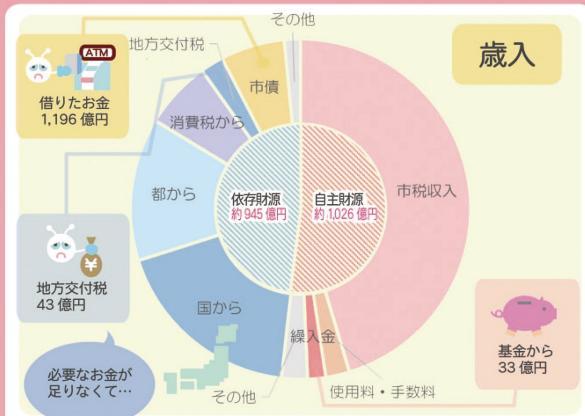
〒192-0066 東京都八王子市本町3-4TRYビル3F  
TEL: 042-623-8802 FAX: 042-627-4507

Email: hachiouji-net@nifty.com  
HP: hachiouji.seikatsuma.me

NO.160 2017年5月15日号  
発行責任者:若林裕子

八王子・生活者ネットワークは、  
2名の女性議員をもつローカル  
パーイー(地域政党)

- 生活者ネットワーク  
3つのルール
- 1 議員は2期8年で  
ローテーション
- 2 議員報酬は市民の  
政治活動資金に
- 3 選挙はカンパと  
ボランティアで



予算額は小さいですが、子ども育てに力を入れるという姿勢が受けられます。

認可幼稚園に通う2才児の保護者に対する補助を新設→これがにより、2才児は誕生日によって、もらえる補助金に差があった現状が解消されます。

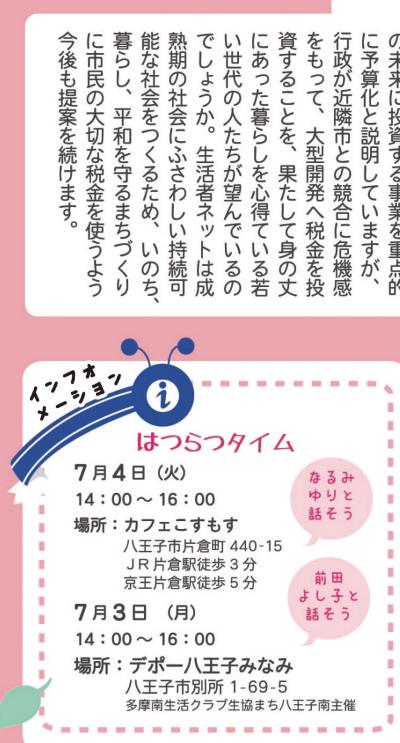
子ども食堂、フードバンク、無料塾等、居場所の提供や食事の提供などを市民活動が活性化するよう、中間支援団体への補助を決定。

八王子駅北口マルベリーブリッジ西側延伸(東急スクエア、ユーロートへ)にかかる準備工事費の予算計上。地上でも移動ができる部分に橋をかけて、中心市街地のにぎわい創出となるのか。

みどりの保全基金が来年にも底をつく! 2004年、ゴミの収集が料化となり、年間約9億円以上もの収入となっています。当初は「みどりのための基金に」という明確な市民への説明でありましたが、プラスチック資源化や、戸別収集の大により経費が増したため、基金への積み立てがなくなりました。みどりの保全基金が減少の一途をたどり、ついに来年度には底をつく…といふところまで来ています。このままでは緑地の公有地化や斜面緑地保全の予算等が確保できなくなってしまう危機的な状況です。

川口土地区画整理事業(川口物流拠点整備): 173haという、大規模な開発事業。最後に残ったまとまった丘陵地、この貴重な自然環境をあえて壊して、物流拠点を作るため造成する。区画整理事業なります。この事業は住民のボランティアにかかるといふ状態です。この事業とはいえない状態です。

今年は市政100周年、人やまちの未来に投資する事業を重点的に予算化と説明していますが、新総合事業は住民のボランティアにかかるといふ状態です。行政が近隣市との競合に危機感をもって、大型開発へ税金を投資することを、果たして身の丈にあった暮らしを心得ている若い世代の人たちが望んでいるのでしょうか。生活者ネットは成熟期の社会にふさわしい持続可能な社会をつくるため、いのち、暮らし、平和を守るまちづくりに市民の大切な税金を使いつゝ今後も提案を続けます。



## 市民目線でチェック! 八王子市の新年度予算

昨年度、今までで最大規模となつた八王子市の予算。2017年度は昨年度に次ぐ2番目に規模の大きい予算となりました。八王子・生活者ネットワークの視点で、2017年度八王子市予算を見てみました。

ので、総事業費の20%を上限として、税金から補助金があられ、他にも道路などの公共部分においては100%公費が支払われます。近隣市において、大型物流拠点整備があつついでおり、「危機感をもつっている」という所管の答弁がくりかえされました。

